

ヨシ群落カルテ(仮称)について

○ヨシ群落カルテ(仮称)作成の目的

- ・令和3年度にヨシ群落保全基本計画を改定、量的回復から質的向上へ(造成から維持管理へ)
- ・維持管理の担い手であるヨシ群落保全活動団体の現状と課題
 - 地域の保全活動の担い手不足
 - 企業等(他所の人)のヨシ群落保全活動への関心の高まり

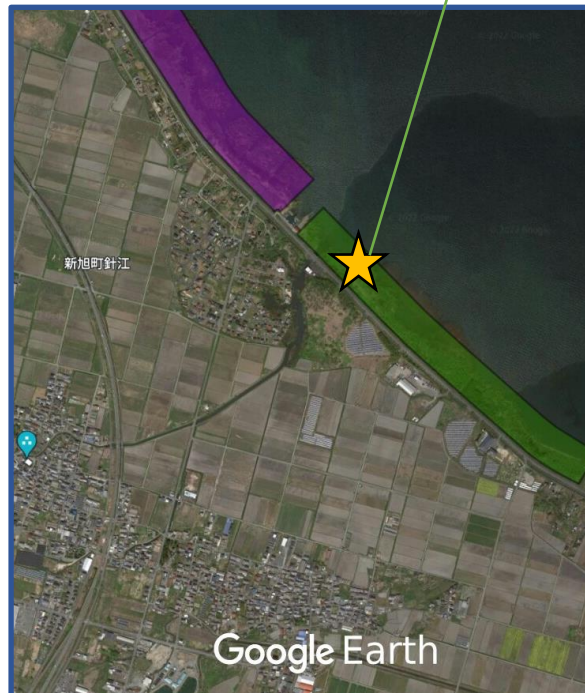
基本方針: **地域住民の意思を尊重しつつ、事業者やボランティア等との関わりによる取り組みを広げる**

- ・取り組みを広げるうえでの課題
 - どこのヨシがどんな状況か、管理されているのか、地元の理解を得られるか等の基本的な状況が整理されていない

目的: 情報を整理し発信することで、地域と他所の人を繋げるきっかけづくりをする

ヨシ群落カルテ(仮称)のイメージ(前回)

カルテ番号	1052	更新日	R5.10.1		
所在地	●●市■	条例における指定区分	保全地域	土地区分	河川区域 私有地
群落の状態	調査日	令和4年8月30日			
	健全性	B	地盤の低い場所や水面ではヨシが比較的良好に保たれているが、地盤の高い場所では陸生植物が優勢となり、ヨシの衰退が見られる群落		
	生息する生き物	カイツブリ、カヤネズミ、ニゴロブナ 他			
	調査結果	定期的なヨシ刈りにより、比較的良好にヨシ群落を維持されている。しかしながら、当該地は河口付近で土砂の供給が一定見込まれるため陸化し易く、維持管理を継続しなければ早期に植生遷移が起こればと考えられる。また、それに伴ってヨシ原に営巣する希少鳥類が見られなくなる恐れもある。			
地域活動	地域団体	●●●のヨシ群落を守る会	協力企業等	株式会社●●●	
	活動状況	ヨシ群落を3分割してローテーションを組み、毎年1月ごろにヨシ刈りおよび火入れを実施。			
	地域の思い等	かつては近隣の住民が生活のためにヨシを刈り取ってきたが、近年は生活様式の変化により人の手が入らなくなった。ヨシ群落の荒廃を防ぎ湖国の原風景を保全するために、団体を組織して手入れを続けている。			
	地域の課題	高齢化で重労働が難しくなっており、新たな参加者の確保が課題となっている。			
	求められる活動	ヨシ刈り、除草、ヤナギ伐採、ゴミ清掃、自然観察、ヨシ植え、その他()			
活動条件	隣接施設	●●公園		管理者	■市●●課
	普通車駐車場	30台	大型バス駐車	可	管理者 滋賀県●●課
	トイレ	有		管理者	滋賀県●●課
	関係法令	河川法、自然公園法、滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例			
	CO2回収量	(ヨシの平均高さ)	270cm-289cm	9.57 ton-CO ₂ /ha	



ヨシ群落カルテ(仮称)について

○ 昨年度、審議会でもいただいた御意見

ヨシ群落の調査について

- ・外来種が生息している群落もあるので十分に調査をしてほしい

ヨシ群落カルテに載せる情報について

- ・それぞれの群落について、どのような群落を目指しているのか入れてほしい

情報発信の方法について

- ・多くの方がカルテにたどり着けるようにしてほしい

活用の方法について

- ・保全区域等の指定の基礎データとして利用してほしい

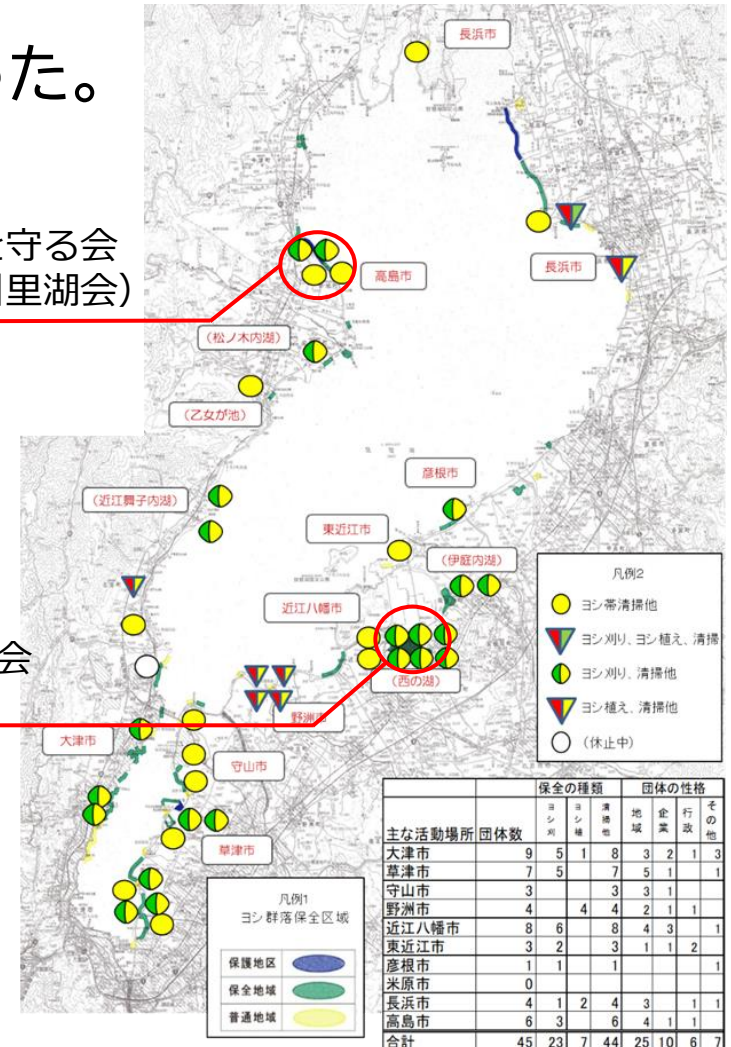
○ ヨシ群落保全団体へのヒアリングについて

県内の4つの保全団体にヒアリングを行った。

- ・びわこ高島の葦を守る会
- ・壮友会(針江里川里湖会)
- ・西の湖プロジェクト
- ・東近江水環境自治協議会

びわこ高島の葦を守る会
壮友会(針江里川里湖会)

東近江水環境自治協議会
西の湖プロジェクト



ヒアリング結果

びわこ高島の葦を守る会(高島市新旭町針江)

団体の概要

- ・ヨシの利活用を目的に集まった高島市内の企業グループ

ヨシ刈りの目的

- ・ヨシ群落の保全
- ・自分たちで刈り取ったヨシを利用して、ヨシ布の製作や、ヨシ立てをフォトスポットとして活用している

課題

- ・ヨシを使って事業しているが、採算が取れていない。
- ・ブランド化して価値を上げるか、外から評価されるものがないとモチベーションが続かない

ヒアリング結果

壮友会(里川里湖会)(高島市新旭町針江)

団体の概要

- ・針江地域の55～65歳の方で構成された会
- ・里川里湖会は壮友会内の2つの班が合わさったもの

ヨシ刈りの目的

- ・自治会が毎年している仕事の一つ
- ・ヨシ刈り後の親睦会を楽しみにしている

課題

- ・市からの委託料は作業量に見合っていない
- ・委託料が無くなればヨシ刈りを続けていくことは難しい
- ・ヨシ群落の保全が一番の目的ではない

ヒアリング結果

東近江水環境自治協議会(近江八幡市西の湖)

団体の概要

- ・安土町の人々を中心に発足。水環境について皆で取り組む
- ・地域のお他団体と協力してヨシ刈りをしている

ヨシ刈りの目的

- ・西の湖周辺でヨシ刈りをし、刈ったヨシはコクヨに出荷している
- ・小学校等にヨシ刈り体験を頼まれた際は、**環境学習**等と組み合わせて実施している

課題

- ・メンバーが高齢化し、会の理念を継いでくれる**後継者**がない

ヒアリング結果

西の湖プロジェクト(近江八幡市西の湖)

団体の概要

- ・西の湖周辺の自然、生態系、伝統文化を尊重した持続可能な取り組みを通じて、西の湖のすばらしさを広めることが目的
- ・個人所有のヨシ群落をまとめて維持管理している

ヨシ刈りの目的

- ・かつては、ヨシを刈る権利を入札にかける等ヨシで収入を得ていた
- ・近年はヨシが売れないため、**景観を守るため**にヨシ刈りやヨシ焼きをしている

課題

- ・最近ではヨシ群落の中にオギが生えてきておりヨシが減っている
- ・管理も大変になってきており、県に土地を買い取ってほしい

ヒアリング結果とヨシカルテの課題

○ヒアリングまとめ

- ・団体によってヨシ刈りの目的や課題は様々
- ・同じ地域であってもヨシに対する考え方等は異なる

○ヨシカルテの課題

- ・団体によって状況が異なるため、単一の対応では上手くいかない
- ・そもそも、現在活動している団体の把握ができておらず、ヒアリング先が偏っている

○今後の対応

- ・県内で現在活動されているヨシ群落保全団体の把握
- ・継続してヒアリングを行い、より多くの団体の現状を把握
- ・場所ごとではなく団体ごとに作成する。(団体と群落を分ける)

ヨシ群落カルテ(仮称)のイメージ(現在)

群落カルテ

所在地		●●市■■■	カルテ番号	群落-1	主な活動団体 ○○会 ××自治会 △△グループ		
条例における指定区分		保全地域	土地区分	河川区域 私有地			
群落の状態	調査日	令和4年8月30日					
	健全性	B	地盤の低い場所や水面ではヨシが比較的良好に保たれているが、地盤の高い場所では陸生植物が優勢となり、ヨシの衰退が見られる群落				
	生息する生き物	カイツブリ、カヤネズミ、ニゴロブナ 他					
	調査結果	定期的なヨシ刈りにより、比較的良好にヨシ群落が維持されている。しかしながら、当該地は河口付近で土砂の供給が一定見込まれるため陸化し易く、維持管理を継続しなければ早期に植生遷移が起これと考えられる。また、それに伴ってヨシ原に営巣する希少鳥類が見られなくなる恐れもある。					
地域との関わり	かつては近隣の住民が生活のためにヨシを刈り取ってきたが、近年は生活様式の変化により人の手が入らなくなった。現在は景観のために地域の団体によってヨシ刈りがされている。						
活動条件	隣接施設	●●公園	管理者	■■市●●課			
	普通車駐車場	30台	大型バス駐車	可		管理者	滋賀県●●課
	トイレ	有				管理者	滋賀県●●課
	関係法令	河川法、自然公園法、滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例					
	CO2回収量	(ヨシの平均高さ)	270cm-289cm	9.57 ton-CO ₂ /ha			

団体カルテ

団体名	○○会	カルテ番号	団体-1	更新日	R5.10.1
主な活動箇所	●●市■■■	団体の種類	自治会		
地域活動	活動状況	ヨシ群落を3分割してローテーションを組み、毎年1月ごろにヨシ刈りおよび火入れを実施。			
	ヨシへの思い等	かつては近隣の住民が生活のためにヨシを刈り取ってきたが、近年は生活様式の変化により人の手が入らなくなった。ヨシ群落の荒廃を防ぎ湖国の原風景を保全するために、団体を組織して手入れを続けている。			
	課題	高齢化で重労働が難しくなっており、新たな参加者の確保が課題となっている。			
	求められる活動	ヨシ刈り、除草、ヤナギ伐採、ゴミ清掃、自然観察、ヨシ植え、その他()			
	協力企業等	株式会社●●●			